



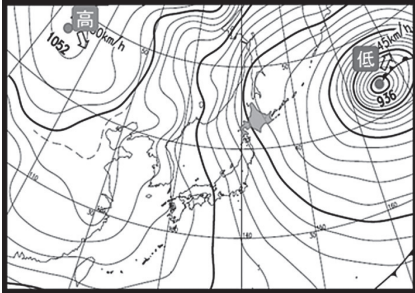
暴風雪から身を守るために知っておこう

●西高東低の気圧配置

冬は、大陸に高気圧、北海道の東に低気圧がある『西高東低の冬型の気圧配置』となり、ふぶくことが多いです。このような気圧配置のときには、北海道にかかっている等圧線の間隔が狭いほど風は強く吹きます。

●暴風雪警報について

雪を伴う強い風が吹くことを『暴風雪』といい、気象台では、『暴風雪』によって重大な災害が発生する恐れがあると予想したとき、『暴風雪警報』を発表します。



〈西高東低の冬型の気圧配置〉

●暴風雪警報が発表されたら

『暴風雪警報』の発表中は、晴れていても一瞬で猛吹雪になるなど、天気の変化が激しい場合があるので、屋外での行動は危険を伴います。

特に車の運転は雪や吹雪で事故の可能性が高まるほか、交通渋滞で車が動けなくなると、周辺に雪がたまり、排気ガスにより一酸化炭素中毒を起こす危険性もあります。

やむを得ず運転するときは、道路の通行止めや規制の確認とともに、閉じ込められても対応できる装備も必要です。

家では停電に備え、ラジオ・懐中電灯・乾電池などを準備しておきましょう。

また、テレビ・ラジオなどで最新の情報を確認し、外出を中止するなどの確かな行動をとることが重要です。

▼問い合わせ

室蘭地方気象台

(☎)4249

人が輝き まちがときめく

仲間たち

Group

和裁サークル

『和裁サークル』は、和裁技術の向上や趣味を通して会員同士の親睦を図ることを目的に、昭和56年に発足しました。

現在、会員は60代から80代までの女性6人。毎週火曜日の10時から15時まで、婦人センターで活動しています。

タペストリーやバッグ、お孫さん用のパジャマを作る方もいるほか、時には編み物もするなど、幅広い作品を作っています。

「着物を着る機会が少なくなつた現在は、着物をリメイクして洋服を作るなど、和裁にこだわらず、自由に作品を作っています」と話すのは、代表の香川そめ子さん。

「メンバーは、互いにアドバ



▲互いにアドバイスをし合い、作品作りに励むメンバー

出来上がりを想像して、楽しみながら作品を作っています

イスをしながら、『こうしてみたらどうかな』と、工夫して作品を作っていますね。市民活動センターで開催される作品展などに行つて刺激を受け、そこで得たアイデアを試してみたりもします。出来上がったときを想像しながら楽しんで手を動かしていますね」と、香川さんは活動の様子を話します。

同サークルに入会して約15年の大宮キヨ子さんは、「皆で集まって、ゆったりとした時間の中でお話をしながら裁縫をすることがとても心地よく、毎週火曜日の活動がいつも楽しみです」と話してくれました。

初心者の方も大歓迎の同サークル。活動に関する問い合わせは、香川さん(☎)1668)まで。